

## 配管土工標準化積算の試行について（お知らせ）

神戸市水道局では、これまで段階的に老朽化した配水管更新のペースアップに取り組んできました。今後、高度経済成長期に布設した大量の配水管が更新時期を迎えることから、より一層のペースアップと効率的な発注方式の導入が必要となります。

### 1. 更新ペースアップのための取り組み状況

市内の全配水管のうち、取替が必要な老朽化した管路の割合は令和3年度末時点で約16%（789km/4,876km）あり、これら大量の配水管を効率的に更新するため、本市では工事量の平準化（年間40km）や多様な発注方式（「大口径管路DB」の試行や「包括積算方式」の導入等）に取り組んできました。

この度、これら老朽化した管路を将来にできる限り残さないよう、更新のペースアップを図るため、更なる設計・積算業務の効率化に向けた取り組みの一環として「配管土工標準化積算」を試行します。



### 2. 配管土工標準化積算方式の概要

小口径管路の更新工事において、昨年度までに導入した「包括積算方式」を下記のように改良し、簡素化を図るものです。

※詳細は別紙『【積算資料】配管土工の標準化積算』を参照

#### 【土工標準化積算方式の特徴】

- 神戸市道の舗装復旧号工について6種類に標準化
- 管布設工における土工断面を18種類に標準化
- 上記舗装復旧号工（6種類）と土工断面（18種類）を組み合わせた108種類の土工断面毎にm単価・箇所単価にて積算